

荒川白門会

(第5号)

編集・発行 中央大学学員会東京荒川区支部事務局



令和4年度中央大学学員会東京荒川区支部定時総会懇親会にて（令和4年12月6日）



【魂の擲で100回大会を優勝で！】 支部長 鈴木 貫太郎

コロナ禍からようやく抜け出せるかと思いきや、今年は果たしてどうでしょうか？昨年暮れのキーワードは「あれから3年！」でした。どちらかと言いますと経済活動もコロナ対策もしっかりとでしたね。それだけに企業の忘年会もやたらと多いように感じました。挨拶の枕詞では「あれから3年！」が異口同音に出ていました。なるほどなあと。

さて、年明けの第99回箱根駅伝では感動・感動の名場面が出現。白門会員の目をTVに釘付けにしましたね。選手諸君有り難うと。堂々の32年ぶりの総合第二位ですから。

報告があります。今年は大丈夫だから新橋に役員だけでも集まろうとの並木幹事長殿の呼びかけがバッチリでしたね。並木幹事

長、小原事務局長、北川事務局次長さんらの手配で応援も決まり、あとは恒例の新年会へと。この後はお判りでしょうから。

本当に待ち遠しかった、それもこれも全員でつないだ「魂の襷」ではないだろうか。感動をありがとう！来年の第100回大会での優勝候補の一角を占める事は間違いのない事でありましょうから。

今回は箱根特集になってしまいましたが、それだけに荒川白門会一同が待ちに待った「中大魂」の復活を何よりも望んでいたからに他なりません。

中央大学に栄光あれ！

ひとりひとりに栄光あれ！

と申し上げ挨拶と致します。



【素晴らしい年となることを祈念】 幹事長 並木 一元

荒川白門会の皆様におかれましては様々な要因による厳しい社会環境の中、力強い白門魂をもって新年を迎えられたことと思います。母校中央大学においては新型コロナウイルスの感染増加によりオンライン授業中心の期間が長く続き学生間交流・サークル活動に影響を受けていたようであります。

しかし発表によりますと本年4月より各授業において、オンライン活用が効果あると思われる科目以外、基本的には対面形式にて授業を行うとのことであります。この決定により学生が我々の時代と同じように本来の学生生活を取り戻せるよう切に願っております。

又最近の新しい動きとして2019年度にグローバル戦略として国際経営学部（多摩）、国際情報学部（市ヶ谷田町）が開設されましたが2023年度におきましては八王子に所在する法学部が文京区茗荷谷キャンパスに移転されます。ほかにも様々な面で中央大学が奮闘しているニュースが届き大変嬉しく思っております。

さて中央大学にとって新年一番の話題は何といっても箱根駅伝ではなかったでしょうか。当支部も鈴木支部長を団長とする荒川白門応援団で新橋沿道応援に行っていました。

藤原監督が語った「本年の目標3位、来年の100回大会においては優勝を目指す」という言葉以上の本年総合2位、気持ちよく祝勝会を行えました。

来年の優勝を目指して選手に頑張ってもらい、我々もしっかり応援して行こうと思います。

明るい話題でスタートした 2023 年が荒川白門会のメンバーにとって素晴らしい年となることをご期待し挨拶とさせていただきます。



【私の健康の源】 飯田 豊彦

この度、荒川白門会の仲間に入れていただきました飯田です。一九六八年法学部卒業。学生時代の四年間を町屋で過ごしたことから、荒川区が私の第二の故郷です。

鈴木支部長の紹介で入会させていただきました。よろしく願います。

現在は隣の足立区に住んでいます。私は今、高齢者のソフトボールチームに所属しています。かれこれ二十年に。毎朝、街中の少年野球場に集い、平日の朝八時過ぎから昼頃まで2試合します。このソフトが私の健康の源になっています。

また私は大のヤクルトファン。東都大学野球も神宮球場ですので、共によく通いました。私が三年の時に、中大は日本一になり、中庭での優勝報告会が今でも脳裏に焼き付いています。

箱根駅伝は私が入学する前年まで総合優勝六連覇でした。今年は、箱根駅伝と野球（秋季リーグ）も残念ながら二位でしたが、私的には最高の年になりました。これからも箱根駅伝と野球部の同時優勝を願って、応援をしていきます。

この度、母校の先輩・後輩と語り合える機会を得ることができ、何よりうれしいです。感謝です。



【初めまして】 小西 理

私は、1984年・昭和59年3月商学部卒で、在学中は学友会学術連盟商学会という学術サークル(60%以上は笑学会かも)で過ごしました。時代的には、受験は駿河台校舎でしたが、入学式は、機動隊に囲まれ、初めて多摩校舎でおこなわれた年です。

現在は、卒業後入社した企業のグループ会社で会社生活を継続中です。

趣味は、以前より続けている国内外の紙貨幣・切手・テレカの収集です。今は、発行年毎にデザインが変わる英国旧1ポンド貨幣や独国旧1マルク貨幣集めに没頭中です。

最近は、広島勤務時代に嵌ったカーブ応援、仙台勤務時代に始めたランニング・トレッキング・キャンプ・ぶらり日帰り温泉等アウトドアへ幅を広げました。東京勤務に戻った直近では、東京

新発見や関東甲信越を「車窓で巡る日帰りバス旅行」、更には歴史探訪「パワースポット・神社巡りと御朱印(日本橋小網神社が定番)」「肌で感じる東京の銭湯巡り(墨田区緑・松の湯の常連)」等幅だけでなく奥を深めるべく趣味の研究・開発中です。

最後に、年始は皇居前で中大応援団と団旗のもと、箱根駅伝(復路)の応援をしました。

来年に向け、私の新たな趣味となる母校応援と、母校の活躍に大きく期待が膨らみます。

(写真の説明)

2019 年開催 第 12 回東京城南島羽田マラソン(5km の部)
カーブ姿で完走 年齢別で第 2 位(完走者 2 名)



【入会にあたってのご挨拶と自己紹介】 竹前 友勝

先日入会させていただきました竹前友勝(たけまえともかつ)と申します。二〇〇四年、経済学部・経済学科卒の41歳です。若輩者でございますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

学生時代は、アナウンス研究会に所属し、企画部長として滑舌練習等の担当をしておりました。同期はNHK、一つ下の後輩はテレビ朝日でアナウンサーをしております。かくいう私は夢破れ、ナムコ(現バンダイナムコ)に営業職として入社。その後、家業である平和商事株式会社(本社:東尾久 業種:紙器製造業)に入り、町工場の経営者しております。

贈答用の紙器を製造している関係上、コロナ禍で出荷は減少。特に土産物の函は復活の兆しが見えません。そんな中、昨年、中小企業診断士の資格を取得。荒川区立尾久小学校のPTA会長も仰せつかっており、生まれ育った地元へ少しでも恩返しが出来ればと思います。同窓の諸先輩方にはご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



【住宅の東大】 鶴見 健治

今年の正月は久しぶりにテレビの前に釘付けになった。第99回箱根駅伝で快走を見せてくれた後輩達に「ありがとう!お疲れ様!」と言いたいと思う。ちょうど2区吉井君が駒澤大学、青山大学とデットヒートをしている頃起床し、お!と思い携帯を見ると、いつもはたまに開催される飲み会の掲示板にすぎない旧友とのLINEが、とても賑やかだった。実況中継さながらに何度も応

援コメントが入り、みんなも今テレビを見ているなど感じた。

驚いたのは自分も含めて友人もこんなに熱くなって中央大学を応援している事である。藤原監督は来年100回大会での優勝が目標であると言う。吉井君が4年生になる100回大会こそ「古豪復活！」と新聞の見出しが躍るのを今から楽しみにしている。

ところで昨年 TikTok を賑わした学習塾の動画をご存知だろうか。いわゆる大学紹介の動画であるが、文学部1年生が「中央大学は全大学で最高に君臨すべき大学」と紹介していた。理由は「中央、すなわちセンターに位置する大学だから」である。ここまではお約束であるが、中央大学の優れた点に「ぼっちが多いので、他学と違って独りでも過ごしやすい」「そんな君が、もし青学や立教に行ってみたことを想像しろ！肩身が苦しいと思わないか！」と力説！吹き出してしまった。

私は中央大学の特徴を「真面目、堅実、誠実、正直、信念」と感じていたが、今はこんな風に捉えているのだと思い、それも分かる気がするなど妙に微笑ましく思ってしまった。彼はメディア研究会に属しており、動画の最後2人の友人と出演している。実は彼が自分のキラキラした学生生活をこのように自虐的に表現する感覚もまた中央大学らしいと感じ、特徴に「シャイ」を加えようと思った。

私は98年に卒業後、旭化成工業（現旭化成）に入社し住宅部門に配属となった。当時先輩から「中央大学は住宅の東大」と言われた事を思い出す。中央大学出身の住宅営業マンは大変売れている営業が多いのだと言う。それは今も変わらない。信頼がもっとも重要な住宅事業において中央大学基質が向いているのだと思う。自分も本学の一員であった事を誇りに感じ、頑張っていこうと感じた一年の始まりになった。（1998年商学部卒）

【役員名簿】令和4年度

	役職	氏名	卒業年	学部
1	顧問	荻野 弘康	1959	商
2	顧問	野入 納	1962	法
3	顧問	堀江 吉明	1965	商
4	顧問	松丸 和夫	1977	経
5	相談役	佐藤 安夫	1978	経
6	相談役	斎藤 暢夫	1959	法
7	相談役	矢吹 誠	1976	法
8	相談役	濱島 明光	1982	法
9	支部長	鈴木 貫太郎	1969	法
10	副支部長	赤石澤 健志	1968	経
11	副支部長・会計監事	片岡 正光	1973	商
12	副支部長	大貫 健次	1974	理工
13	副支部長	渡辺 敏行	1974	文
14	副支部長・会計	阿部 信行	1979	商
15	幹事長	並木 一元	1978	法
16	副幹事長	吉井 功	1977	経
17	副幹事長	掛川 良和	1980	商
18	副幹事長	越間 秀男	1987	文
19	副幹事長	本木 理恵子	1999	法
20	副幹事長	桂 やまと	1999	文
21	副幹事長・会計	赤池 照子	1993	商
22	副幹事長・事務局長	小原 実	1984	商
23	副幹事長・事務局次長	北川 孝行	1992	経
24	副幹事長・事務局次長	木村 信男	1990	理工
25	幹事	蓮本 猛	1971	法
26	幹事	渡辺 和利	1976	商
27	幹事	奥村 泰久	1976	法
28	幹事	佐野 公一	1981	法
29	幹事	田中 照英	1982	経
30	幹事	仙波 正弘	1984	商
31	幹事	菊地 英治	1989	法
32	幹事	大山 俊哉	1990	法
33	幹事	野村 知栄	1996	商
34	幹事	沢野 忠	1970	法
35	幹事	湯口 俊明	1978	商
36	幹事	高橋 幸男	1964	法
37	幹事	木川 俊男	1981	経